

Raymond Academy

レイモンド学園だより No33

2012年4月1日

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」Ⅱテモテ 3:16,17

新学期が始まりました。学園創立9年目になります。皆様のお祈りに支えられて長いような短い道のりをここまで歩んでこられましたことを感謝しております。今年度も主に導かれながら力強く教師も生徒も成長していきたく願っております。

冒頭のみことばはレイモンド学園の理念としているものです。特に「教えと戒めと矯正と義の訓練」という言葉に心をとらえられています。

これらどの言葉をとっても心地良いものでも、楽なものでもありません。むしろ抵抗する力が発生するものです。人は罪の性質を持って生まれていますから、当然楽をしたい、仕えるより仕えてもらいたい、面倒なことに関わりたくない、などと思うのが自然です。教えられなくても悪いことをするものです。しかし主は神の人に対して、良い働きに整えられるためにこれらのものを受けてほしいと求められます。そしてそのために聖書が与えられています。

私の息子は昨年から歯列矯正をしています。前歯が一本少ないため、全体の歯列を沢山の装具を使ってまさに矯正しています。病院から帰って数日は痛みや不快感を訴え、つらそうにしていますが、暫くすると負荷力に慣れてきてだんだんと歯列がきれいになります。私たちも生まれつきの性質は神様の働きのために十分に整えられていません。教えられたり、神の義を身につけるための矯正がされなければなりません。歯に針金が付けられ、押されたり引っ張られたりして、目的が達成されるまで何年もかかるように、私たちの人格も時間をかけて矯正がなされなくては整わないのです。生徒一人一人に矯正や訓練の必要なテーマは違うでしょう。どうか私たち教師が、主の装具のように用いられて、的確な働きが出来ますようにお祈りでお支え下さい。教師も生徒も、神様の良い働きのために、ふさわしい十分な整えられた者となれますように、お祈り下さいますようお願い致します。

学園長 伊東美穂



【報告】

9月15日(木) Mr. and Mrs. Kirkland 来校

ACE創設者のご家族であり、初代ACEスクールの生徒であられたカーklandご夫妻がレイモンド学園を訪問して下さいました。沢山の祝福と笑顔を、またプレゼントを頂きました。日本の滞在中で一番嬉しかったのはレイモンド学園を視察できたことだと言って下さいました。ますます日本のクリスチャン教育のために期待されていること、また責任を感じました。

9月16日(金) ACEセミナー

またとない恵みでありチャンスとして、カーklandご夫妻をお招きして素晴らしいセミナーが開かれました。日本各地から多くの方が受講され、レイモンド学園が日本のクリスチャン教育の働きに携われることを感謝しました。御名を崇めます。

11月12日(金) 第4回学園祭

毎年の恒例となりましたレイモンド学園祭が今年も楽しく開催されました。今年は「あなたがたの光を人々の前で輝かせ」マタイ5:16より「シャイン」というテーマのもと、以下の3つの目標を掲げて行われました。

- ① 自分に与えられている賜物を発揮できる学園祭
- ② 誰でも来ることができて、楽しんでもらえる学園祭
- ③ 私たちを支えて下さる方に感謝を表すことの出来る学園祭

アメリカで行われる生徒大会に備えて、ミニコンベンションを行いました。また、学園生活を紹介するDVDも作成できました。

12月14日(水) 終業式&クリスマス会

12月までの道のりは毎年とても長く感じます。今年は久しぶりに終業式の後クリスマス会も引き続き行いました。終業式では音楽の発表があり、チャイムを何曲もこなす生徒の成長に驚きました。クリスマス会では美味しいデザート、工夫されたプレゼント交換会など、リラックスしたムードで楽しみました。

12月17日(土) コワイヤチャイム出張演奏

初めての試みで、学園外でチャイムの奉仕を申し込みました。東戸塚駅前の野外ステージでFM戸塚主催のクリスマス会がありました。様々なグループが発表するなか、レイモンド学園の全生徒が出演して3つのグループに分かれ、クリスマス曲を6曲演奏しました。本当のクリスマスの意味を少し話しながら、イエス様の御名を伝えるチャンスとなりました。生徒達にとってもチャレンジとなりました。

3月9日(金) 2011年度 終業式

言葉に表せない感謝を持って、一年締めくくりの終業式を迎えました。一年間様々なことに取り組んだ生徒達が表彰され、音楽のクラスからは発表があり、そして、1年半の間忠実に教師として仕えて下さったディム先生、グロリア先生から証と歌のプレゼントを頂き、喜びと楽しみにあふれた会となりました。一年間支えて下さったお母様方には学校から花のプレゼントが贈られ、こ



の花はその家庭の長子より渡されました。また、祈りと犠牲無くしては勤めることの出来ない教師という任務を誠実に果たされた先生方お一人ひとりには、学園長から贈り物が渡されました。

その後、父母の方々が心込めて用意して下さった昼食をおいしく頂きました。

4月11日(水) 2012年度 始業式

学園創立9回目の始業式です。今年は初めて新入生がない始まりです。19名の児童生徒と2名の幼児でスタートします。神様の限りない希望と祝福が1人ひとりであることを確信して、神様をほめたたえます。



【生徒のレポートより】

「思慮深い」 小学高学年生

思慮深いという言葉の意味は、良識ある判断をし、特に細やかに、人がしている事に真剣な配慮と思いやりを示すことです。

思慮深いことについて書かれている聖書の箇所は、「主を恐れることは知識のはじめである。おろか者は知恵と訓戒をさげすむ。」箴言 1:7 です。

聖書の中で思慮深いと思う人は、イエス様の弟子のヨハネです。ヨハネはイエス様が十字架にかけられている時、母マリヤに寄り添い、思いやりを持ってマリヤを支えました。ヨハネの福音書 19 章にヨハネのことが書いてあります。「イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に、女の方。そこに、あなたの息子がいます。と言われた。それからその弟子に、そこにあなたの母がいますと言われた。そのときから、この弟子は彼女を自分の家にひきとった。」

十字架にかけらえたイエス様をみるマリヤがどんなにつらいかと思ひやり、イエス様からマリヤの事をたのまれたヨハネは、思慮深いと思いました。

ぼくは、一つのことにも夢中になると、つい他のことを忘れて注意不足になります。人のことも自分のこともおろそかになります。細やかに自分や人のしていることに配慮出来るようになりたいです。そうでなければ、イエス様がヨハネを信らいして、たのんだように、人から信らいしてもらふことは出来ません。自分や周りに細やかに心を配れるようになりたいです。

「公平である」 中学生

今月は、公平であるという言葉学びました。公平であるとは、関係しているそれぞれの人の視点から状態を見ることです。献仁先生は、やもめの献金の話をチャペルで話して下さいました。

イエス様は、人々が献金するところをみておられました。ある人は沢山のお金を入れていましたが、貧しい人たちはあまりお金を入れませんでした。あるやもめも、貧しい人たちの一人で、レプタ 2 枚を献金箱にそっと入れました。それをみておられたイエス様は「私は真実をあなた方に告げます。この貧しいやもめはどの人よりも沢山投げ入れました。みなは有り余る中から献金を投げ入れたのに、この女は貧しい中から持っていた生活費の全部を投げ入れたからです。」と言われました。

この話の後に献仁先生は、ガラテヤ人への手紙 5 章 16 節から 26 節を開いて話して下さいました。神様がみられるのは、献金をささげる量ではなく神様から与えてもらったうちから、どれだけ捧げるか、ということです。これと同じように、僕たちが神様か

ら頂いた色々な賜物をどれだけ神様のために用いるかを神様はみておられます。それぞれもらう量は違って、僕たちは公平に神様から賜物を頂いています。ぶどうの木を使って家を建てることは出来ず、ぶどうの木はぶどうの実をならすことでその本当の価値が現れます。これと同じように、僕たちの賜物はそれぞれ最も適した、神様の役に立てることをする事で、本当の輝きを表し、神様の栄光を人々に証することが出来ます。自分の賜物を神様のために用いなければ僕たちはそれに執着し、高慢になってしまいます。僕たちはあくまでも、神様から頂いたものを使うだけの、弱い人間だと言うことを忘れてはいけません。

僕はこの話を聞いていた時、直接僕に語られているように感じました。それは、僕が自分の賜物にうぬぼれて、高慢になってしまうことがよくあるからです。僕は自分の賜物を生かすために努力をしていますが、初めにこの賜物を与えて下さったのが神様だということを、忘れないようにしないといけないと思いました。

【お知らせ・祈りのリクエスト】

- * 4月よりメンシー・フェルナンデズ先生が赴任されました。先生は、フィリピンより約4年前に来日されました。宣教師として東京日本橋の「いのちの泉教会」に遣わされています。日本を愛し、日本人に仕えるために来日されている教育宣教師です。2年前に東戸塚キリスト教会でスーパーバイザーズのトレーニングを履修され、3月まで東京の Little Ones Missions International School で教師として奉仕されていましたが、今年よりレイモンド学園の教師となりました。よろしくお願ひ致します。
- * 3月に帰国されたディム先生、グロリア先生がそれぞれ最善の道に導かれますようにお祈り下さい。
- * ロケ・ジョシュ君、チェリッシュさんが4月よりホームスクールに変更されます。これからの歩みの上に神様の助けと導きをお祈り下さい。
- * 東京のACE ホームスクーラーのご家族が4月より一時体験入学されます。よい学びと交わりとなりますようにお祈り下さい。
- * 5月の International Student Convention に沖田果菜さん、石田創君、高橋陸君が参加します。準備と学びの両立のためにお祈り下さい。

